

代表質問(2)

民主党・社民クラブ

誰もが明るく生き生きと暮らせる
西東京市の実現を目指して!

質問者 山崎 英昭

質問 19万3千市民のため
2期目に臨む市長の決意は
質問 西東京市を「誰もが
明るく生き生きと暮らせ
一人一人が互いに支え合
夢や希望が育めるまち」に
するため、行財政改革・総
計画の双方を着実に推進
し、合併の総仕上げをして
いきたい。
質問 現下の金融・経済・
雇用不安に対する市長の見
解と市の対策について示せ
質問 市の果たすべき役割
は、まず第一に市民生活を
守ること。昨年末に生活保
護や生活資金の相談窓口を
臨時的に開設した。また、



西東京市議会公明党

選挙結果を猛省し市民の
選挙批判を謙虚に受け止めよ!

質問者 新井 五郎

厳しい選挙結果を猛省せよ
質問 坂口市長は記者の質
問に「厳しい選挙戦だった
率直に言って市民から批
判・意見を受けた」と答え
ている。投票率が下がって
も得票を伸ばせなければ真
実の信任とはいえない。猛
省すべきと指摘する。
質問 1期目のマニフェストの成
果は
質問 エコプラザ西東京の
抜本的見直しや、住吉福祉
会館建て替えの再検証は市
長の詭弁ではないか。
質問 既存の計画事業を進
めマニフェストに取り込む
ことも十分あり得る。

徳円規模のプレミアム付き
商品券を発行する。
質問 スポーツ・文化行政
特に学校教育以外の分野は
縦割りによる行政の都合で
はなく市民ニーズに適した
施策実行のために教育委員
会から市長部局への移管を
早急に行うべきだ。
質問 首長によるまちづく
り、地域づくりをさらに円
滑に推進するため、市長部
局が所管する事務事業と合
わせて一元的に所管するこ
とで効率的・効果的に実施
され、市民サービスの向上
が図れると考えている。平
成21年度中に組織改正を行
うことで、教育部の内部及
び市長部局と連携し検討を
進めている。
質問 厳しい経済情勢の中
でも、限られた予算で最大
限の効果を市民に還元する
ために、行財政改革へのた

ゆまぬ取り組みを求める。
質問 将来の財政見通しや
地域の実情、社会経済情勢
の変化等を踏まえた新たな
行財政改革大綱を平成21年
度中に策定し、多様化する
市民ニーズに的確に対応で
きる健全で自立した自治体
経営の実現に努めたい。
質問 いこいの森公園の騒
音差止等仮処分申立事件に
ついて、子どもを騒音
とした裁判所の判断を唯々
諾々と受け入れることは認
めることができない。子育
てのしやすいまちづくりを
掲げている西東京市として
早急に裁判所へ起訴命令の
申し立てを行い、みずから
の主張を司法の場で訴えて
いくべきだ。
質問 早期の解決を目指し
和解の道を探っているが、
今後は起訴命令申し立ても
視野に入れて進めたい。

それは市長を支持する会派
へのご機嫌取りだ。
質問 市の施策が盛りだく
さんなので見方によっては
総花的に見える。
質問 危機管理体制の構築
には地域力の育成・醸成が
必要だが準備はどうか。
質問 災害発生時に地域の
力で住民同士が助け合う地
域の育成・醸成が必要と考
えている。

質問 限られた行政資源を
最大限に活用できるプラン
が必要と考えている。
質問 合併10年を目前にし
て施策が総花的ではないか。



定額給付金の早期支給を!
質問 公明党が庶民の目線
で立案・推進してきた定額
給付金の支給について、市

日本共産党西東京市議団

深刻な雇用破壊と景気悪化のもと
暮らし・雇用の緊急支援を!

質問者 藤岡 智明

暮らしと雇用を守る
ため、市として行うべきこ
とは何か。緊急融資制度の
延長、生活・雇用等の総合
相談窓口と西東京版派遣村
開設、都通知「雇用状況悪
化に対する相談援助体制」
に基づく丁寧な生活保護相
談と生活つなぎ資金の要件
拡充を提案する。
市長 解雇等による離職者
対象に2月から20名枠の臨
時職員募集、4月に正規職
員20名の前倒し採用を実施
する。中小企業支援策では
3月末まで緊急一時資金融
資あつせん制度を実施中で
ある。一時援護資金(2万
円)拡充については現時点
では困難だが、他の生活つ
なぎ資金や社会福祉協議会
の貸し付けなどで、きめ細
かく対応していく。
質問 構造改革と三位一体
改革は何をもたらしたか。



市長 三位一体改革は現在
も重くのしかかっている。
労働者派遣の規制緩和は雇
用不安原因の二因となり、
構造改革は多くの問題を抱
えている。国民の納得でき
る形で取り組むよう市長会
等で積極的に働きかけた。
質問 市の第3次行革につ
いて保育園・学校給食・公
民館・図書館などの民間活
力導入の見直しを含め、十
分な再検討を求め。
市長 市民サービス低下の
ないよう最大限努力する。
質問 今年4月からの介護
保険料はどうなるか。

生活者ネットワーク

市民の主体的な参加によって
持続可能な市民社会を!

質問者 板垣 洋子



市民協働推進センター(南町5丁目)

質問 地方分権を進め多様
化する市民サービスに対応
するには市民自治の充実・
情報公開・市民参加、すな
わち協働が必要。進め方は
質問 市民協働推進セン
ターを拠点に、市民活動に
関する相談・情報提供・研
修等を行い、市民参加と協
働の推進に取り組む。

られた施策の実現を目的に
設置された、公募市民、学
識経験者、行政機関及び交
通事業者で構成される会議
*LED
発光ダイオード。電流を
流すことで発光する半導体
のこと。従来の照明器具と
比べて消費電力が非常に少
ない。また、寿命が長く発
熱量が少ないという特徴が
ある。
*クロスロード
トランプ大のカードを利用
したゲーム形式による防
災教育教材。阪神・淡路大
震災で対応に当たった神戸
市職員へのインタビュー調
査をもとにつくられた。
カードに書かれた問題につ
いて参加者が意見交換をし
ながら、ゲームを進める。

市長 基準月額が据え置き、
低所得者に配慮した保険料
を提案している。
質問 学習支援員のさらな
る拡充を求め。
教育長 成果は確実に上
がっており、保護者からも
評価を得ている。今後、よ
りよい配置、研究内容の充
実について検討していく。

質問 市財政は国の4指標
に問題ないとはいえず、今後
の歳入状況は厳しい。対策
と市民への説明責任は。
質問 経済情勢や税制改正
動向を的確に把握し、予算
編成作業の工程等を工夫し
限られた財源を有効に活用
する。平成21年度から、RS
S配信機能を追加し、市民
への情報公開に努める。
意見 報酬見直しは市民理
解を深めて進めよ。得票
数・選挙結果を重く受けと
め市民に軸足を置き、声を
聞く姿勢で市政運営を貫け